

パートナーシップによるSDGsの推進

三重県（2020年度選定）

1. 地域の実態、 取組の概要 (2030年のあるべき 姿を含む)

三重県では、県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことのできる持続可能な地域、すなわち「強じんて多様な魅力あふれる『美し国』」の実現をめざし、長期ビジョンである「強じんな美し国ビジョンみえ」及び中期の戦略計画となる「みえ元気プラン」を策定しています。

同ビジョン及び同プランではSDGsを共通の視点として、多様な主体との連携や協働に資する取組を積極的に進めるとしており、県内におけるSDGs達成に向けた取組を促進していきます。

2. 関連する ゴール



3. SDGs達成に向けた取組の内容

県とともにSDGsの推進に取り組んでいただける企業や団体の提案をお伺いし、具現化を図っていくための窓口として、令和2年度から「SDGs推進窓口（公民連携窓口）」を設置しています。

また、令和3年度には「三重県SDGs推進パートナー登録制度」を創設しました。パートナー登録を募るとともに、パートナーのSDGs達成に向けた取組が見える化することで、県内におけるSDGs推進の取組を促していきます。

4. 取組の成果、今後の展開策

「SDGs推進窓口（公民連携窓口）」への提案をきっかけとして、公民の連携によりSDGsに関するセミナーやワークショップを開催するなど、多くの連携事業が創出されています。加えて、金融機関等とSDGs推進のための官民連携協定を締結するなど、県内におけるパートナーシップの輪は着実に広がっています。

また、令和3年11月から「三重県SDGs推進パートナー登録制度」をスタートし、令和6年9月時点で1,453者の登録を行いました。引き続き、パートナー登録を促進するとともに、さまざまな主体間の連携を促し、SDGsの推進を図っていきます。

5. 独自計画URL

<https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/sdgspartner.htm>

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

三重県

2024年9月

SDGs未来都市計画名	三重県 S D G s 未来都市計画	
自治体 S D G s モデル事業 又は特に注力する先導的取組	若者とめざすミッションゼロ2050	

三重県 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（ 1 ） 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値			2022年			2030年（目標値）			達成度 （%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	県内ものづくり企業の新たな製品開発や事業化等につながった件数（累計）【9.5】	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	69	件	2024年 （2023年度）	110	件	63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
2	県内高等教育機関と取り組む産学官等連携の件数（累計）【9.5】	2020年 （2019年度）	0	件	2022年 （2021年度）	69	件	2024年 （2023年度）	190	件	36%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
3	今後、三重県経済をけん引することが期待される産業分野における人材の育成数【8.2】	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	432	件	2024年 （2023年度）	405	件	107%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
4	県内への設備投資目標額に対する達成率【8.2】	2020年 （2019年度）	0	%	2023年 （2022年度）	352	%	2024年 （2023年度）	100	%	352%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
5	企業等と連携したスマート農林水産業の実践数（累計）【8.2】	2020年 （2019年度）	10	件	2022年 （2021年度）	43	件	2024年 （2023年度）	80	件	54%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
6	新エネルギーの導入量（世帯数換算）【7.2】	2019年 （2018年度）	668.0	千世帯	2022年 （2021年度）	831	千世帯	2023年 （2022年度）	747	千世帯	206%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
7	家庭での電力消費による二酸化炭素排出量【12.8】	2020年 （2019年度）	1,024.0	千t-CO2	2022年 （2021年度）	899	千t-CO2	2024年 （2023年度）	991	千t-CO2	379%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
8	大規模事業所における地球温暖化対策計画書制度に基づく目標達成率【17.17】	2020年 （2019年度）	81.80	%	2022年 （2021年度）	89.70	%	2024年 （2023年度）	80.00	%	112%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
9	環境教育・環境学習講座等を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した参加者の割合【11.6】	2020年 （2019年度）	93.40	%	2023年 （2022年度）	98.70	%	2024年 （2023年度）	100	%	80%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
10	「資源のスマートな利用」を宣言した事業所数（累計）【12.3、12.5】	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	1262	件	2024年 （2023年度）	1,000	件	126%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
11	廃棄物の最終処分量【12.3、12.5】	2020年 （2019年度）	339	千t	2022年 （2021年度）	315	千t	2024年 （2023年度）	318	千t	114%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
12	1人1日あたりのごみ排出量（一般廃棄物の排出量）【12.3、12.5】	2020年 （2019年度）	947	g/人日	2022年 （2021年度）	924	g/人日	2024年 （2023年度）	918	g/人日	79%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
13	海岸漂着物対策等の水環境の保全活動に参加した県民の数【6.3、14.1】	2020年 （2019年度）	30,105	人	2023年 （2022年度）	23,252	人	2024年 （2023年度）	41,000	人	-63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている 新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
14	大気・水質の排出基準適合率【6.3、14.1】	2020年 （2019年度）	100.0	%	2023年 （2022年度）	100	%	2024年 （2023年度）	100.0	%	100%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。

（2）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値			2022年実績			2022年目標値		達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	Society5.0時代の産業創出、次世代ものづくり産業の振興	県内ものづくり企業の新たな製品開発や事業化等につながった件数	2020年 (2019年度)	0	件	2023年 (2022年度)	69	件	2024年 (2023年度)	110 件	63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
2	Society5.0時代の産業創出、次世代ものづくり産業の振興	県内高等教育機関と取り組む産学官等連携の件数	2020年 (2019年度)	0	件	2022年 (2021年度)	69	件	2024年 (2023年度)	190 件	36%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
3	ICTやデータの利活用による産業振興	今後、三重県経済をけん引することが期待される産業分野における人材の育成数	2020年 (2019年度)	0	件	2023年 (2022年度)	432	件	2024年 (2023年度)	405 件	107%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
4	ICTやデータの利活用による産業振興	県内への設備投資目標額に対する達成率	2020年 (2019年度)	0	%	2023年 (2022年度)	352	%	2024年 (2023年度)	100 %	352%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
5	ICTやデータの利活用による産業振興	企業等と連携したスマート農林水産業の実践数	2020年 (2019年度)	10	件	2022年 (2021年度)	43	件	2024年 (2023年度)	80 件	54%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
6	地産地消型のエネルギーシステムの導入促進	新エネルギーの導入量（世帯数換算）	2019年 (2018年度)	668	千世帯	2022年 (2021年度)	831	千世帯	2023年 (2022年度)	747 千世帯	206%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
7	多様な主体とのパートナーシップ	家庭での電力消費による二酸化炭素排出量	2020年 (2019年度)	1,024	千t-CO2	2022年 (2021年度)	899	千t-CO2	2024年 (2023年度)	991 千t-CO2	379%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
8	多様な主体とのパートナーシップ	大規模事業所における地球温暖化対策計画書制度に基づく目標達成率	2020年 (2019年度)	81.80	%	2022年 (2021年度)	89.7	%	2024年 (2023年度)	80.00 %	112%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
9	脱炭素社会に向けた家庭での取組促進	環境教育・環境学習講座等を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した参加者の割合	2020年 (2019年度)	93	%	2023年 (2022年度)	98.7	%	2024年 (2023年度)	100 %	99%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
10	プラスチック対策の推進	「資源のスマートな利用」を宣言した事業所数	2020年 (2019年度)	0	件	2023年 (2022年度)	1,262	件	2024年 (2023年度)	1,000 件	126%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
11	プラスチック対策の推進	廃棄物の最終処分量	2020年 (2019年度)	339	千 t	2022年 (2021年度)	315	千 t	2024年 (2023年度)	318 千t	114%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
12	プラスチック対策の推進	1人1日あたりのごみ排出量（一般廃棄物の排出量）	2020年 (2019年度)	947	g/人日	2022年 (2021年度)	924	g/人日	2024年 (2023年度)	918 g/人日	79%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
13	伊勢湾をはじめとする自然環境の保全	海岸漂着物対策等の水環境の保全活動に参加した県民の数	2020年 (2019年度)	30,105	人	2023年 (2022年度)	23,252	人	2024年 (2023年度)	41,000 人	-63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている 新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
14	伊勢湾をはじめとする自然環境の保全	大気・水質の排出基準適合率	2020年 (2019年度)	100	%	2023年 (2022年度)	100	%	2024年 (2023年度)	100 %	100%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。

2020年度

第 1 期SDGs未来都市計画（2020～2022）の進捗評価結果報告シート（様式3-2）

三重県 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（3）三側面ごとの取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	取組名	取組内容	指標名	当初値			2022年			2022年（目標値）			達成度（%）	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	【経済】①－1 S o c i e t y 5.0時代の産業創出、次世代ものづくり産業の振興	本県のものづくり産業の競争力強化を図るため、次世代自動車や航空宇宙等をはじめとする次世代ものづくり産業をけん引する技術人材を、関係機関と連携しながら育成する。	県内ものづくり企業の新たな製品開発や事業化等につながった件数（累計）	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	69	件	2024年 （2023年度）	110	件	63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
	【経済】①－2 I C Tやデータの利活用による産業振興	若者から選ばれるしごとの創出や働く場の魅力向上を図るため、県内高等教育機関相互や産学官により構築したネットワークを活用して、高等教育機関に蓄積されている研究成果、企業ニーズなどの情報を共有し、分野の枠を超えて連携した取組を推進する。	今後、三重県経済をけん引することが期待される産業分野における人材の育成数	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	432	件	2024年 （2023年度）	405	件	107%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
	【経済】①－3 地産地消型のエネルギーシステムの導入促進	地方から安全で安心なエネルギーの確保に貢献するため、地域との共生が図られるよう新エネルギーの導入を促進するとともに、エネルギー関連技術の開発を支援する。また、県民や事業者に対してエネルギーに関する啓発等を行う。	新エネルギーの導入量（世帯数換算）	2019年 （2018年度）	668	千世帯	2021年 （2022年度）	831	千世帯	2023年 （2022年度）	747	千世帯	206%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。
2	【社会】②－1 多様な主体とのパートナーシップ	県民の皆さんや市町など様々な主体と連携し、三重県地球温暖化防止活動推進センター等が取り組む普及啓発活動等を通じて、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を促進する。	家庭での電力消費による二酸化炭素排出量	2020年 （2019年度）	1,024	千t-CO2	2022年 （2021年度）	899	千t-CO2	2024年 （2023年度）	991	千t-CO2	379%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
	【社会】②－1 多様な主体とのパートナーシップ	「三重県地球温暖化対策推進条例」に基づく地球温暖化対策計画書制度により事業者の自主的な温室効果ガス排出削減の取組を促進するとともに、低炭素化に先進的に取り組む企業等を支援する。	大規模事業所における地球温暖化対策計画書制度に基づく目標達成率	2020年 （2019年度）	81.80	%	2022年 （2021年度）	89.70	%	2024年 （2023年度）	80.00	%	112%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
	【社会】②－2 脱炭素社会に向けた家庭での取組促進	持続可能な社会を構築し、地域の環境を保全するため、SDGsの考え方を取り入れて策定した「三重県環境基本計画」に基づく取組を推進し、環境・経済・社会の統合的向上を図る。持続可能な社会の実現に向け自ら行動する人づくりを進めるため、三重県環境学習情報センター等を活用して環境教育・環境学習に取り組むとともに、事業者における環境経営や環境影響評価等の取組を進める。	環境教育・環境学習講座等を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した参加者の割合	2020年 （2019年度）	93	%	2023年 （2022年度）	98.7	%	2024年 （2023年度）	100	%	80%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
3	【環境】③－1 プラスチック対策の推進	ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された一般廃棄物が資源として最大限有効活用されるよう、消費者の意識改革や循環の質にも着目した取組など、消費者の意識改革や循環の質にも着目した取組などを通じて、3 R を推進し、事業者においても「資源のスマートな利用」等の自主的な取組を促進し、持続可能な循環型社会の構築につなげていく。	「資源のスマートな利用」を宣言した事業所数（累計）	2020年 （2019年度）	0	件	2023年 （2022年度）	1,262	件	2024年 （2023年度）	1,000	件	126%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
3	【環境】③－2 伊勢湾をはじめとする自然環境の保全	海洋プラスチックを含むプラスチックごみ対策については、河川でのプラスチックごみの流出実態調査結果をふまえた取組やコンビニエンスストア等事業者と連携したワンウェイプラスチックの使用削減をモデル地域で実施するなどを進める。	海岸漂着物対策等の水環境の保全活動に参加した県民の数	2020年 （2019年度）	30,105	人	2023年 （2022年度）	23,252	人	2024年 （2023年度）	41,000	人	-63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。 新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。

（４）三側面をつなぐ統合的取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	【経済→環境】 「資源のスマートな利用」を宣言した事業所数（累計）	2020年（2019年度） 0 件	2023年 (2022年度) 1,262 件	2024年（2023年度） 1,000 件	126%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
2	【経済→環境】 廃棄物の最終処分量	2020年（2019年度） 339 千 t	2022年 (2021年度) 315 千 t	2024年（2023年度） 318 千 t	114%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
3	【環境→経済】 農業産出等額	2018年 1,205 億円	2021年 1,171 億円	2022年 1,222 億円	-200%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
4	【環境→経済】 漁業生産額	2018年 44,596 百万円	2021年 39,297 百万円	2022年 53,147 百万円	-62%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
5	【環境→経済】 県内への設備投資目標額に対する達成率	2020年（2019年度） 0 %	2023年 (2022年度) 352 %	2024年（2023年度） 100 %	352%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
6	【環境→経済】 観光消費額	2020年（2019年度） 5,564 億円	2023年 (2022年度) 4,269 億円	2024年（2023年度） 6,000 億円	-297%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。 新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
7	【経済→社会】【環境→社会】 若者の定住率	2019年 87 %	2023年 (2022年度) 89.19 %	2023年 87.37 %	102%	進捗管理は行っていないが、南部地域における若者の定住率についてみえ元気プランで進捗管理を行っている
8	【経済→社会】 環境教育・環境学習講座等を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した参加者の割合	2020年（2019年度） 93 %	2023年 (2022年度) 98.70 %	2024年（2023年度） 100 %	80%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
9	【社会→経済】 新エネルギーの導入量（世帯数換算）	2019年（2018年度） 668 千世帯	2022年 (2021年度) 831 千世帯	2024年（2023年度） 747 千世帯	206%	みえ元気プランで進捗管理を行っている
10	【社会→経済】 県内高等教育機関と取り組む産学官等連携の件数（累計）	2020年（2019年度） 0 件	2022年 (2021年度) 69 件	2024年（2023年度） 190 件	36%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
11	【社会→経済】 県内外の高等教育機関卒業生が県内に就職した割合	2019年（2018年度） 45 %	2023年 (2022年度) 43.50 %	2024年（2023年度） 50.00 %	-25%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。 また、三重県人口減少対策方針を策定し、社会減対策として定住促進や流入・Ｕターン促進等を進めている。
12	【社会→環境】 1 人 1 日あたりのごみ排出量（一般廃棄物の排出量）	2020年（2019年度） 947 g/人日	2022年 (2021年度) 924 g/人日	2024年（2023年度） 918 g/人日	79%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。
13	【社会→環境】 海岸漂着物対策等の水環境の保全活動に参加した県民の数	2020年（2019年度） 30,105 人	2023年 (2022年度) 23,252 人	2024年（2023年度） 41,000 人	-63%	みえ元気プランで進捗管理を行っている。 新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、当初値より減少したが、今後、社会情勢の回復状況を踏まえ、必要な施策を展開。
14	【環境→社会】 家庭での電力消費による二酸化炭素排出量	2020年（2019年度） 1,024 千t-CO2	2022年 (2021年度) 899 千t-CO2	2024年（2023年度） 991 千t-CO2	379%	進捗管理は行っていないが、引き続き取組達成へむけ推進を図る予定。

（５）第 1 期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

- 特筆すべき事業内容
自律的好循環の形成に向け、S D G s 推進窓口（公民連携窓口）を設置し、官民の連携を推進している。具体的には、S D G s 推進のための官民連携協定締結などにつながっており、民間企業・N P O 等との協働を進めている。
また、令和 3 年度から「三重県 S D G s 推進パートナー登録制度」をスタートした。令和 6 年 9 月時点で1,453者をパートナーとして登録している。三重県内における企業や団体等のSDGs達成に向けた取組を見える化することで、県内における S D G s の取組を広げていく。
- 成果
「家庭での電力消費による二酸化炭素排出量」、「新エネルギーの導入量（世帯数換算）」、「資源のスマートな利用」を宣言した事業所数（累計）」といった指標は目標を達成しており、脱炭素社会の構築に向けた取組が進んでいる。
- 課題
新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が縮小し、「農業産出等額」、「漁業生産額」、「観光消費額」、「海岸漂着物対策等の水環境の保全活動に参加した県民の数」といった指標は目標を達成することができなかった。
- 今後の展望
三重県では、R 4年度末に『『ゼロエミッションみえ』プロジェクト推進方針』を策定したところであり、引き続き、カーボンニュートラルの実現に向けた企業等の積極的な取組を一層推進し、県内の産業・経済の発展につなげるための取組を進めて行く。
また、社会経済活動がコロナ禍前に戻ってきた情勢をふまえ、関連企業やN P O、市町、有識者等と情報共有・意見交換を行い、パートナーシップのもと必要となる取組を進めて行く。

（６）有識者からの取組に対する評価

- ・指標 1 ～ 5 に見られるように、産業界との連携が着実に進んでいると考えられる点は重要な成果であると思われる。
- ・若者の県外流出を大きな課題として捉え、産学官が連携し、若者が主役となり、脱炭素社会の構築に向けたモデル事業、深刻な人手不足解消へのアプローチを進めてほしい。